

記入例

令和 元 年 11 月 1 日

証明する当該月分以降の日付としてください。

特定子ども・子育て支援の提供に係る領収証

預かり保育事業・認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育の利用料

宛名は、基本的には、施設等利用給付の認定子どもの保護者になります。

納入者 □□ □□ 様

ただし、特定子ども・子育て支援利用料(令和元年10月分)として

当該月1か月間で領収した金額について証明してください。

設置者名称 社会福祉法人 ○○
主たる事務所の所在地 尼崎市◇◇町◇丁目◇番◇号
代表者職氏名 理事長 △△ △△
施設・事業所の名称 ◎◎保育園

社会福祉法人 ○○

法人印又は代表者印の押印をお願いします。

認定子どもが複数いる場合、その合算額について証明していただいても、認定子どもごとにそれぞれ証明していただいても結構です。

特定子ども・子育て支援利用料の領収金額 10,000 円 (下記①の金額)

【特定子ども・子育て支援利用料の内訳】

当該月分の利用料(保育料)として

10,000 円 ①

【特定子ども・子育て支援利用料以外の領収金額】

日用品、文房具、行事参加費、食材料費、通園送迎費等として

1,000 円

無償化対象となる利用料と、それ以外の経費を区分けしたうえで、無償化対象となる利用料を記入してください。

※認可外の居宅訪問型保育事業について、送迎のみの利用は対象外